

# ソニー 8石1Band TR-817形

正 価 9,400円

〔外観、回路構成〕

受信周波数 535~1,605 kc、高周波増幅付8石1バンドの小形の受信機で

ある。コンパクトなデザインで、特にかわつている点は、①同調ダイヤル、同調指示計、電池のスイッチ指示板の3つが直径15mmの円形として並んでいる。②電池スイッチはプツシユボタン式、③電池の入れかえは006P用ソケットを使用せず、電極を接触片にバネでおさえつける方法を取り、入れかえを簡単にしている。

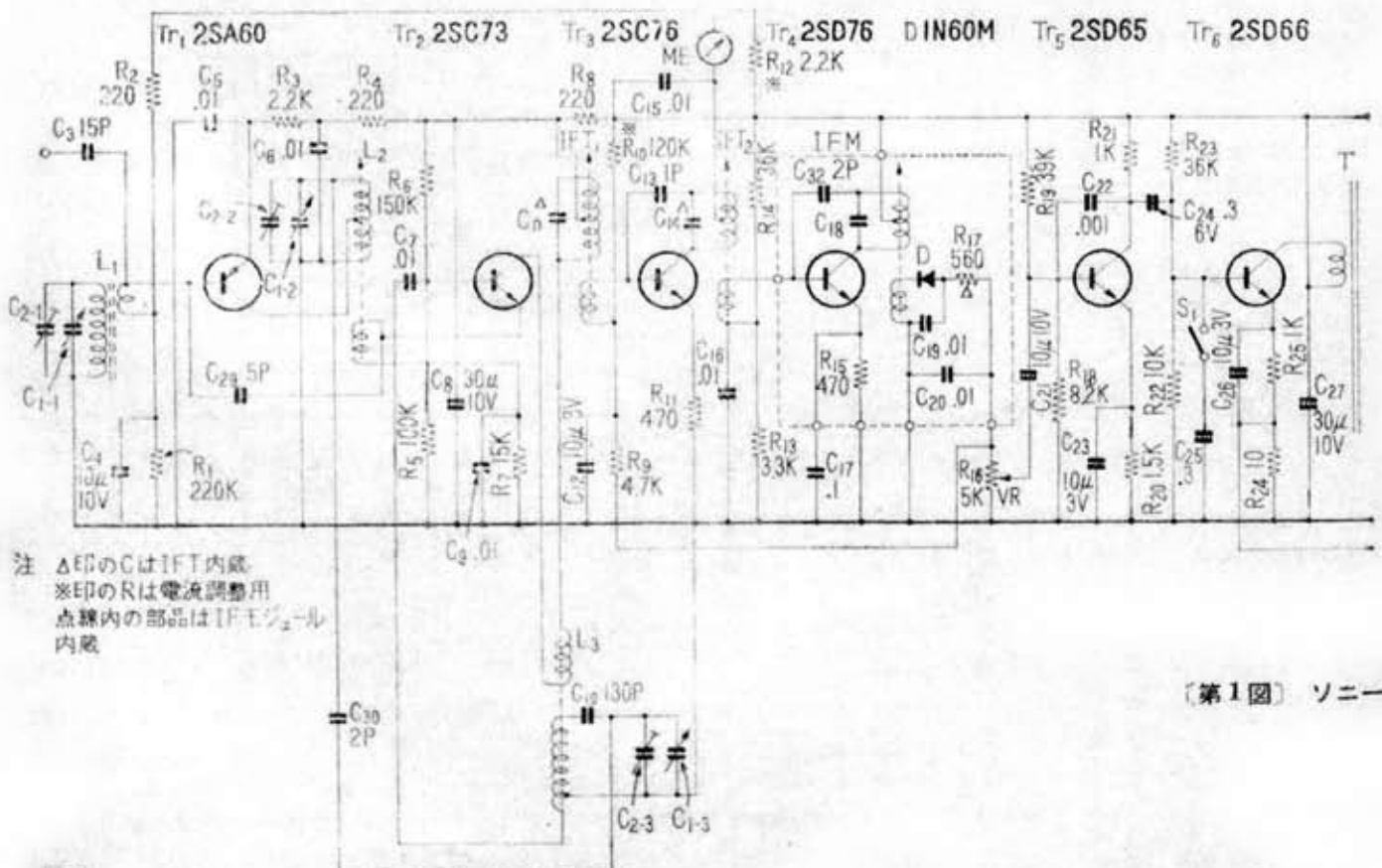
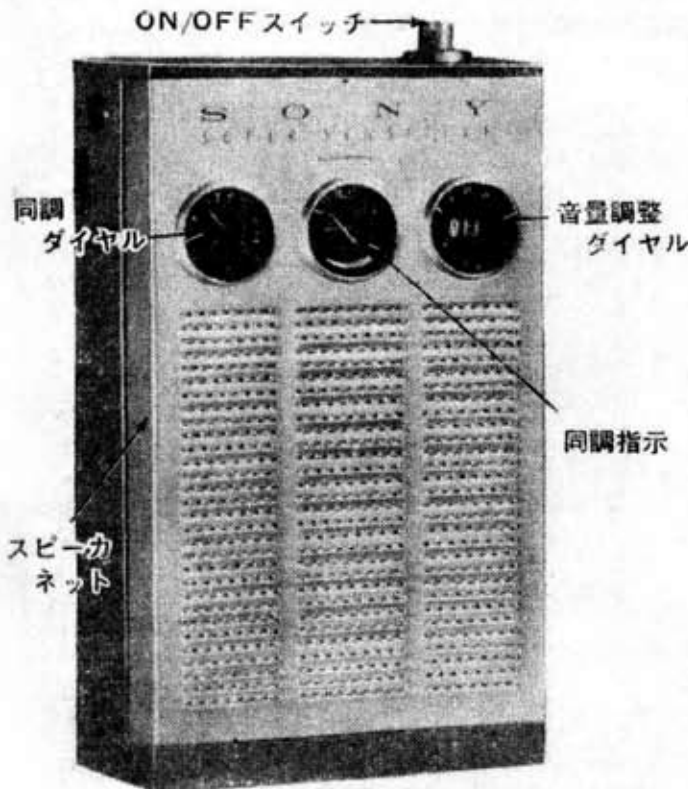
スイッチのON/OFF、電池ケースをあけるロックボタン、音量調節器の回転ぐあいを示す数字で、各所に親切な設計が

みられる。

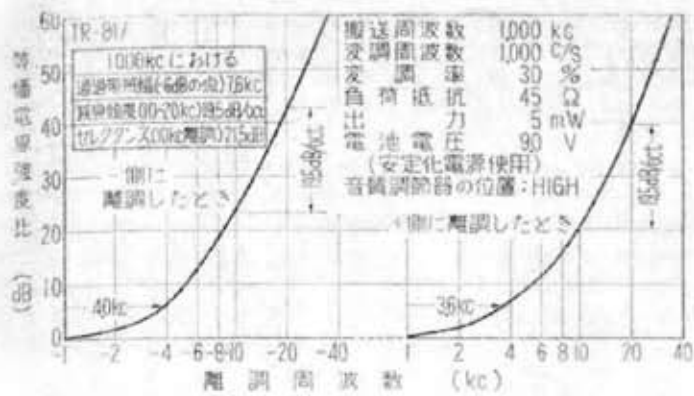
小形にしてはめずらしく、2SA60の高周波増幅付である。周波数変換は2SC73の自励式、出力回路はOTL（スピーカ・インピーダンス45Ω）を採用している。ロッドアンテナはないが、外部リードアンテナ端子があり、音質調節はHとLの2段切換えである。IF初段のコレクタ回路に同調指示計があり、IF2段目と検波回路はIFモジュールとして、一つのケースにまとめられている。

〔測定結果〕

600~1,605 kcの雑音制限感度(S/N 20dB)は、0.58~0.48 mV/mで感度差1.5dBである。イメージ妨害比は1,400 kcのとき54.5dBで1,000 kc以下は良すぎて測定しがたい。実用最大出力(高調波含有率10%のとき)は200mW。電氣的周波数特性は1,000 c/sを基準として、400 c/sでは-2.5



〔第1図〕 ソニー



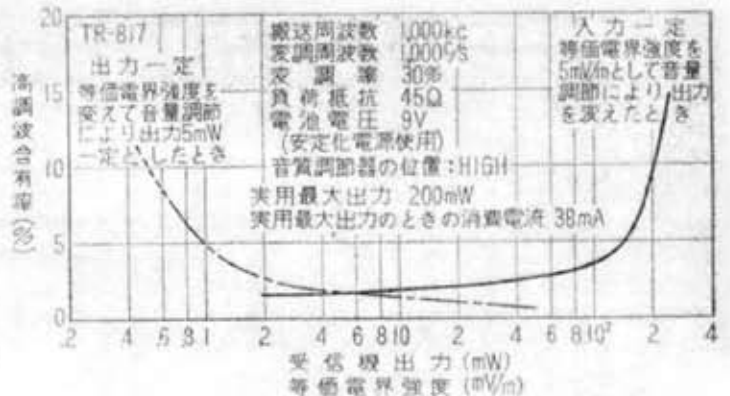
(第2図) 選択度特性

dB、4,000 c/s では -10.5dB である。選択度関係の性能は、通過帯域幅 (-6dB 低下の点) 7.6kc、減衰傾度 19.5 dB/oct、10kc 離調のセレクタンズは 21.5dB である。また出力 5mW のときのひずみは、1.8% である。

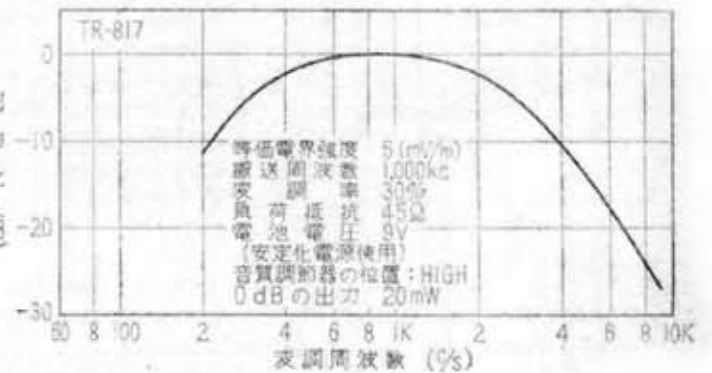
以上の性能を受信機の大きさの割合からみると、大へんすぐれているといえる。フェライト・コア (平角 6×10×52mm) や IFT (7mm 角) が小形にもかかわらず、感度、イメージ比、選択度が良好なのは高周波増幅付のためである。またこの種、小形として実用最大出力が 200mW であるのもめず

らしい。

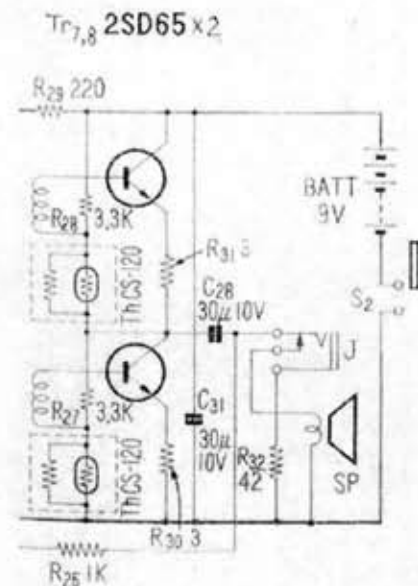
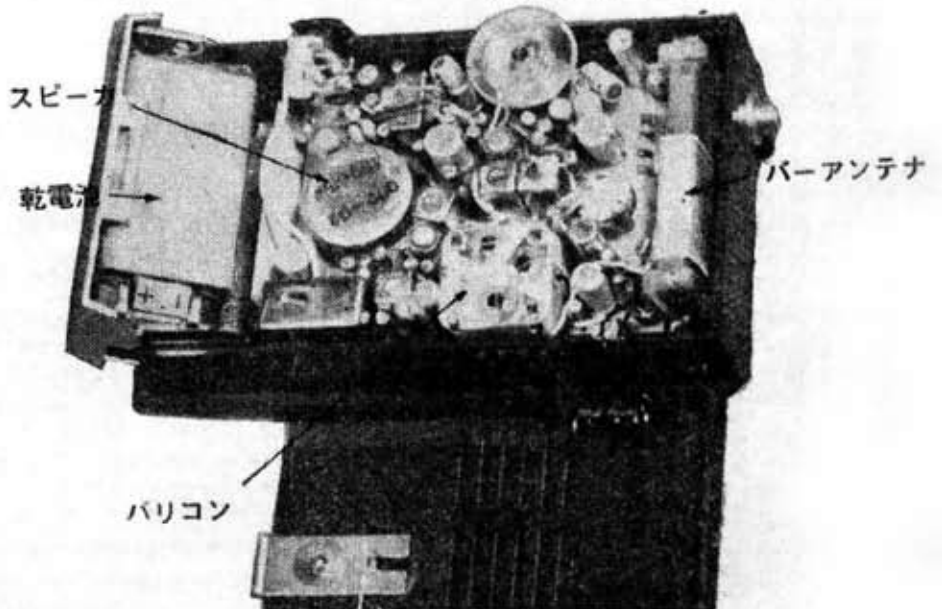
ひずみが 2% をきっている点も大きく評価されてよいと思う。一般に AM 用で 2% をきるのは、むずかしい。



(第3図) ひずみ特性



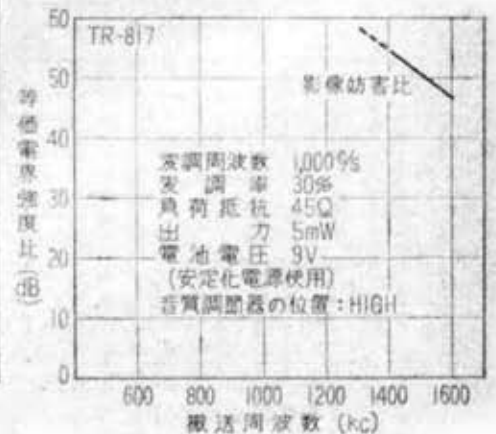
(第4図) 忠実度特性



TR-817 形回路図



(第5図) 感度特性



(第6図) 影響妨害比特性